

○委員長（工藤 恵美）

- ・ 開会宣告
 - ・ 議題の確認
-

1 調査事件

(1) 新たなサービス・効果等を創出する指定管理者制度の運用について

○委員長（工藤 恵美）

- ・ 議題宣告
- ・ 本件については、前回の委員会において、大阪市や岸和田市の取り組みが成功している要因の分析を進めていく中で、当市の現状になじむと思われる工夫点や当市が目指すべき指定管理者制度のあり方などについて具体的に協議を進めていくことを確認していた。
- ・ 成功要因についてだが、正副としては本日お配りしている資料 1 に掲載しているような内容になるうかと考えている。成功要因を大きく 4 点挙げているが、まずは上の 2 つである。1、周辺地域におけるニーズの調査、研究や、2 の潜在的な魅力の発掘ということが十分になされていたと思う。そして、このニーズと魅力をマッチングさせたことで施設に新しい役割や目的を与えることができ、活用コンセプトも明確になったのだと考えている。次に下の 2 つである。3 として、投資循環を考慮して管理期間を設定したこと、4、事前事業提案によって事業の実現性を確認したことが、事業者の事業意欲をかき立てる役割を果たしていたと考えられる。このほか、両市の取り組みにおける成功要因について各委員からも何か御意見などがあれば、つけ加えていきたいと思うので御発言をお願いします。

○板倉 一幸委員

- ・ 成功要因についてということで、今、委員長のほうから説明をいただいた。これをどう理解していくのかについてちょっと時間が必要なのだが、それはそれとして、指定管理者制度を有効なものにしていくというか、よいものにしていくという意味で、どうしても、例えば現在の施設の運営の実態だとか、あるいは住民ニーズといったものが条例や規則に合っていないというようなことがよくあると言われる。指定管理というのはやはり管理委託だとか業務委託ではないので、裁量をどこまで認めるかというのはあるが、行政側の裁量というか柔軟性といったものが必要になってくるし、そういったものが例えば大阪や岸和田に見られたのではないだろうかと思う。それから、指定管理者のインセンティブ、ここにもインセンティブを確保していくというようなことになっているけれども、そういったものを引き出すために事業者の創意工夫や意欲を引き出させていくというか、引き出してもらうというか、そういう仕組みを指定管理者制度の中にやはり明確に確立していくことが必要ではないだろうかと思う。それは利用料金の問題であったり、あるいは先ほど申し上げたように規則の問題であったり、あるいは収益性をどう高めていくのかといったようなことなどもやはり考えていく必要があるのだと思う。そういう意味で、最終的にそういったことを踏まえて住民サービスを向上させていくというようなことが図られていくのではないだろうか。我々が調査をした事例についてはそういったことが見られたのではないだろうかと思う。

○委員長（工藤 恵美）

- ・ 本当に画期的な取り組みを成功例として視察してきたと思っている。そこで、これから函館市の指定管理者について調査、研究していくわけだが、おっしゃるとおり現在の施設の実態がどうあるかということも調査して行って、それをどう変えていくのか、市民ニーズに合ったようなものに変えていくということになっていくかと思う。きょうまたすぐということになると、なかなか意見も出ないだろうから、これから委員会ごとに提案を皆さんから出していただければと思う。
- ・ 他に意見ないか。

○小山 直子委員

- ・ 板倉委員と同じような意見なのだが、函館の指定管理者制度というのはそこに既存の建物があって、そこを指定管理してもらうという形の発想だったと思う。で、やはり、大阪や岸和田の場合には街を活性化する、その建物自体を活性化する、そのためにどうしたらいいのだろうかということをお任せではなくて市のほうも本当にある程度の構想を持ちながら指定管理者を受けたところときちんと話し合いが持てているし、その結果、文化財の場合だったら活性化を図るためにどこまで条例として譲れるのかとか、国や都道府県とどう協議するのかという、その市のかかわりの積極性がすごくあったような気がする。だから、函館も新年度から利用料金制も少し広げていくみたいなのだが、ただ利用料金制にしたからインセンティブが上がるというのではなく、もう少しその施設を函館の中のどんな位置づけでどんなふうにしたいのかということをお任せでない形にしないとなかなか成功しないのではないかという感想を持った。

○出村 ゆかり委員

- ・ 皆さんと大体同じ意見なのだが、私も前にお話ししたとおり、印象としては全くもって規模が違うこと、それがかかわっている企業が成功している上場の大企業であるということと、あと土地柄、あきんど街だなという印象がした。計算というかそういったものがずば抜けているというか、やはり採算とれるのはもちろん、それでなおかつ、もっともっと可能性を広げていっているようなそういった規模と商売に対する考え方自体が、大阪市という枠にとらわれていないところはやはりすごいという印象を受けた。なので、なかなか全部を全部まねることは難しいかもしれないけれども、ヒントはすごくたくさんあると思うので、そこはせっかく行ったのだから見逃さないで落とし込みしていったほうがいいのではないかと印象を受けた。

○委員長（工藤 恵美）

- ・ 他に発言あるか。（発言なし）
- ・ 今もお話あったように、大手企業のバックアップがあるというのはうらやましい限りだが、うらやましがっているばかりでもいけないと思うので、皆で何か対策を、とも思うが、函館らしい取り組みというものもあると思うので、函館にどのように適合させられるかというところで、まだまだ課題は大きいのではないかと思う。いろいろ御意見をいただいているが、これからも調査、研究は継続されているので御意見をいただければと思っている。
- ・ 今後の調査の進め方についてだが、次回以降の委員会では先進地と当市にある条件等の違いについて認めながら、調査を通して明らかにされてきた取り組みの成功要因を踏まえて、当市が目指す制度の運用を考える上で重要だと思われるポイントについて協議をしていきたいと思っている。委員会としての取りまとめを作成していきたいと考えているが、そのような進め方でよいか。（異議なし）

- ・ その他、本件について各委員から発言はあるか。(発言なし)
 - ・ 閉会中に委員会が行った調査については、次の定例会で報告することとなるが、委員長の報告文については委員長に一任願いたいと思う。これに異議あるか。(異議なし)
 - ・ 議題終結宣告
-

2 その他

○委員長（工藤 恵美）

- ・ その他、各委員から何か発言あるか。(発言なし)
- ・ 散会宣告

午後 1 時15分散会